

漁港修築事業 狼煙地区

事業目的

防波堤の整備により、港内の静穏度を向上させ、作業環境の改善及び漁業活動の効率化を図る。また、泊地の整備及び岸壁の整備により、漁業活動の安全性・効率性の向上を図る。さらに、道路整備及び用地整備により、作業スペースを確保し、漁業活動の効率化を図る。

地区概要

■箇所名：狼煙漁港 珠洲市狼煙町、高屋町

■工事内容：

(狼煙)

防波堤(新設) L=200m、護岸(新設) L=50m、岸壁(新設) L=120m

泊地浚渫A=52,300㎡、道路(新設) L=190m、用地A=4,210㎡、

付替河川L=110m

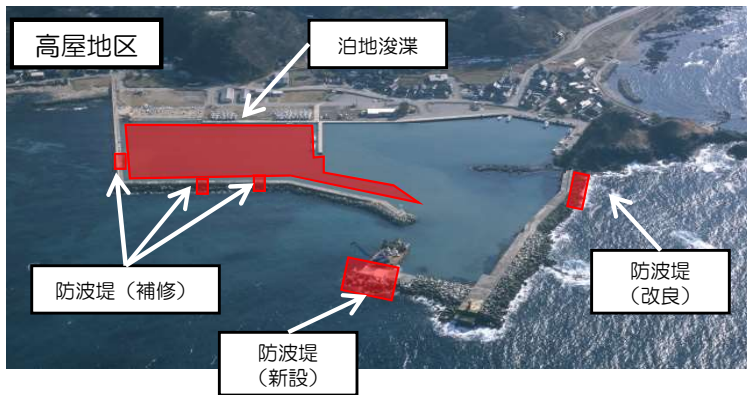
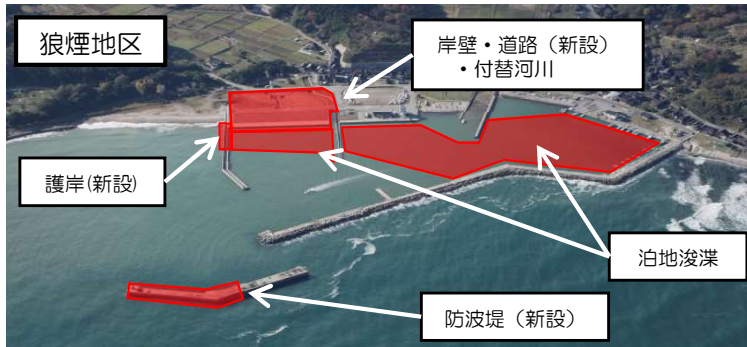
(高屋)

防波堤(新設) L=20m、防波堤(改良) L=51m、防波堤(補修) L=30m

泊地浚渫A=34,800㎡

■総事業費：1,762百万円

■事業期間：平成14年度～平成26年度



評価結果

事業実施以前は、外郭施設や係留施設の整備が不十分であったため、港内の静穏度や陸揚に要する時間等に問題があったが、本事業による防波堤、岸壁等の整備により荒天時の係船状況の確認作業の減少、陸揚の時間短縮等の改善等が図られた。

写真で見る事業効果



荒天時の治波発生状況



防波堤の整備により、港内の静穏度を確保

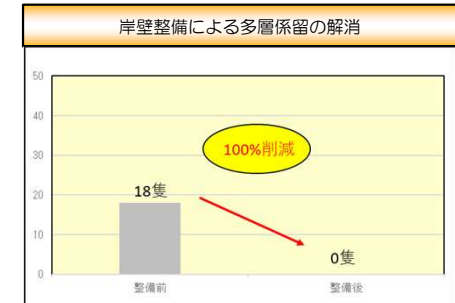


岸壁不足による多層係留状況



岸壁の整備により、多層係留を解消

数字で見る事業効果



— 漁業者の声 —

- 防波堤、泊地の整備により、港内静穏度の向上に加え、水域の水深が確保されたことで、航行がしやすくなった。
- 岸壁の整備により、多層係留が解消され、係留作業時間の短縮に加え、漁船同士の接触による損傷がなくなった。
- 用地の整備により、漁具補修の作業スペースが増え、作業がしやすくなった。

今後の取組

本事業により、港内静穏度の向上や陸揚等漁業活動の効率化が図られた。今後は効果を長期的に発現させていくために、施設の長寿命化対策と計画的な維持管理が重要である。